

令和元年11月7日

川西市長 越田 謙治郎 様

川西市行財政改革審議会  
会長 上村 敏之

令和元年度事業再検証について（中間答申）

本審議会は、令和元年5月10日付の諮問に応じ、今年度分の95事業を検証した結果について、以下のとおり中間答申する。

多くの事業で手法や内容を改善する余地があり、一部の事業では廃止又は休止するべきであるという結論に至った。市長におかれては、特に次の点に留意し、事業の目的や対象者、実施方法などについて、今一度原点に立ち返り、質の高い行政サービスの提供につなげるよう見直しを行われたい。また、職員自らが不断の改善を続けていく組織マネジメントを心掛けていただきたい。

1. 川西市は厳しい財政状況にあり、将来の世代へ負担を先送りしないためにも、財政健全化が重要な課題である。この状況を改善するために、ふさわしい決断を行うこと。
2. 限られた財源の中で、持続可能なまちづくりを進めるため、事業の優先順位を意識し、見直しを図ること。
3. 各種団体やイベントなどへの補助事業については、全体的な効果検証が必要である。目的や効果を含めた補助金のあり方を抜本的に見直すこと。

課題事業(ディスカッション事業)		検証事業(書面審査事業)	
方向性	事業数	方向性	事業数
廃止／休止	8	廃止／休止	2
一部事業の廃止／休止	16	一部事業の廃止／休止	0
手法、内容の改善	39	手法、内容の改善	46
委託化を含めた改善	12	委託化を含めた改善	0
他事業との統廃合を含めた改善	8	他事業との統廃合を含めた改善	1
現行どおり継続	0	現行どおり継続	1
事業拡充	0	事業拡充	2
受益者負担の適正化	2		

※ 1事業に複数の方向性が示された場合があるため、総事業数と一致しない。